

# 1. 消防組織・体制

## 1. 消防機関

平成26年4月1日現在における市町村消防機関の設置状況は次表のとおりである。

消防本部				消防団		
消防本部	消防署	出張所	消防職員数	消防団数	分団数	消防団員数
31	89	117	7,853	48	805	26,557

県下54市町村（37市16町1村）全てが、常備消防体制をとっている。

常備消防体制を設置主体別にみると、31消防本部のうち23消防本部（22市2町（※）は市町単独で設置し、8消防本部は共同処理による一部事務組合（15市14町1村）を設置している。（※）委託団体含む

消防団は全て非常備消防団である。

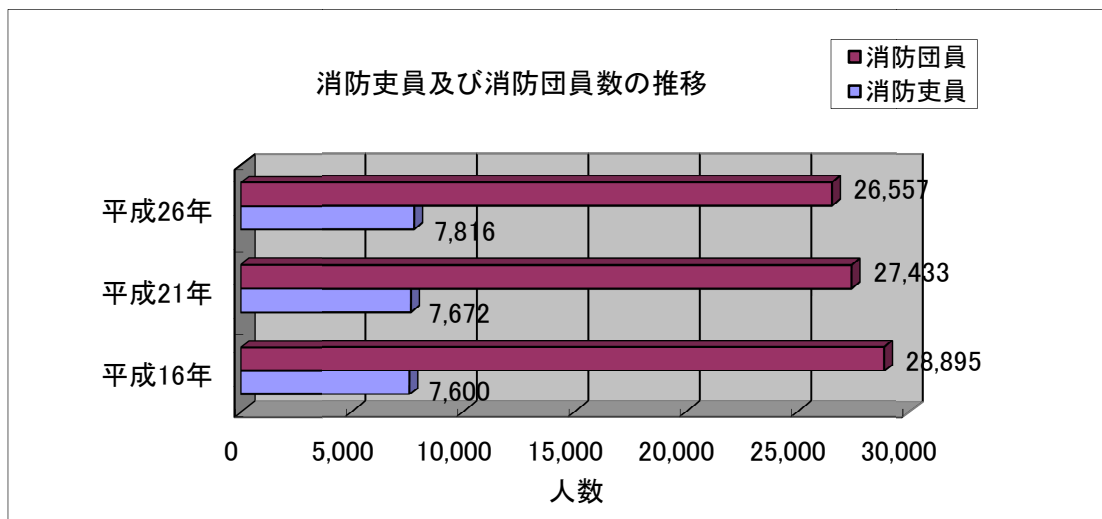
3つの共同による指令センターと3消防本部の指令センターで、管轄する市町村からの119番通報を一括して受け付けている。

## 3. 消防の人員

### (1) 消防職員

平成26年4月1日現在の消防職員は7,853人、うち消防吏員は7,816人である。

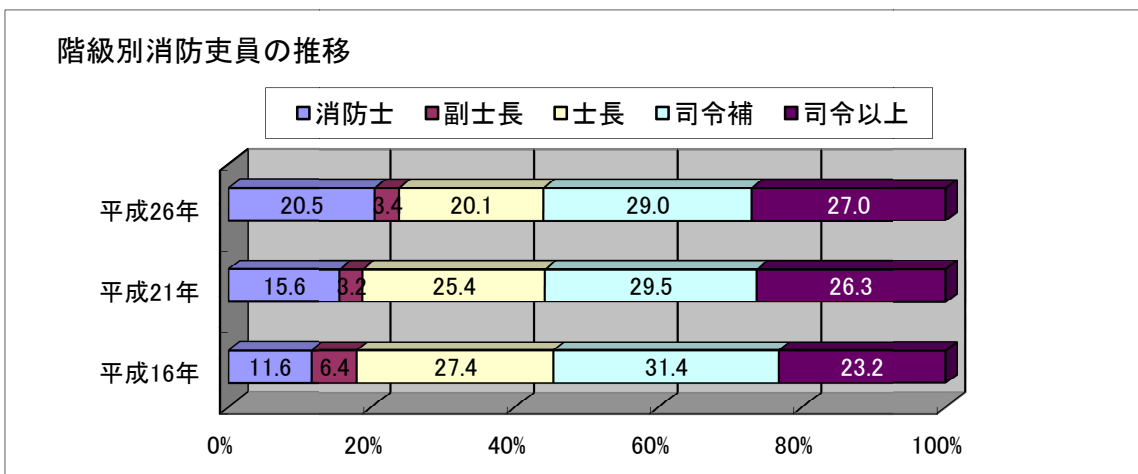
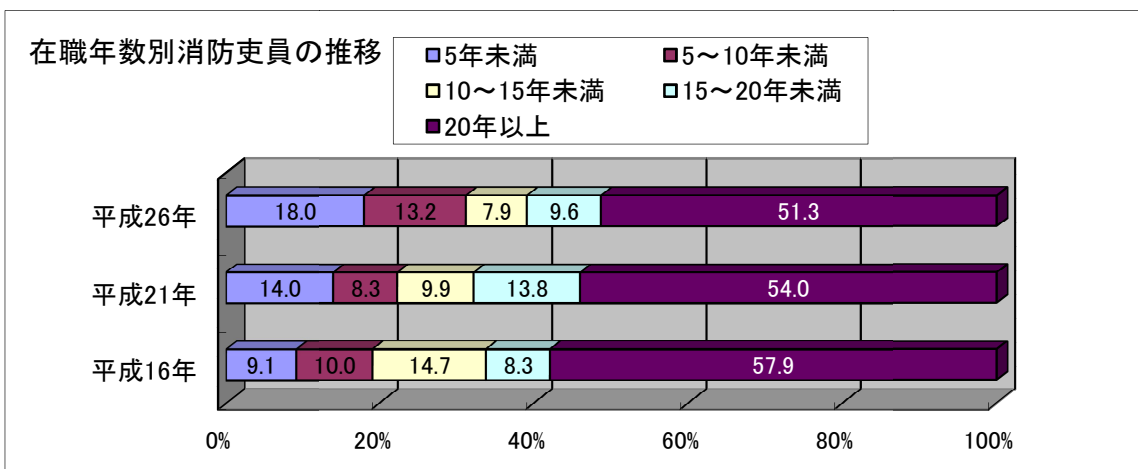
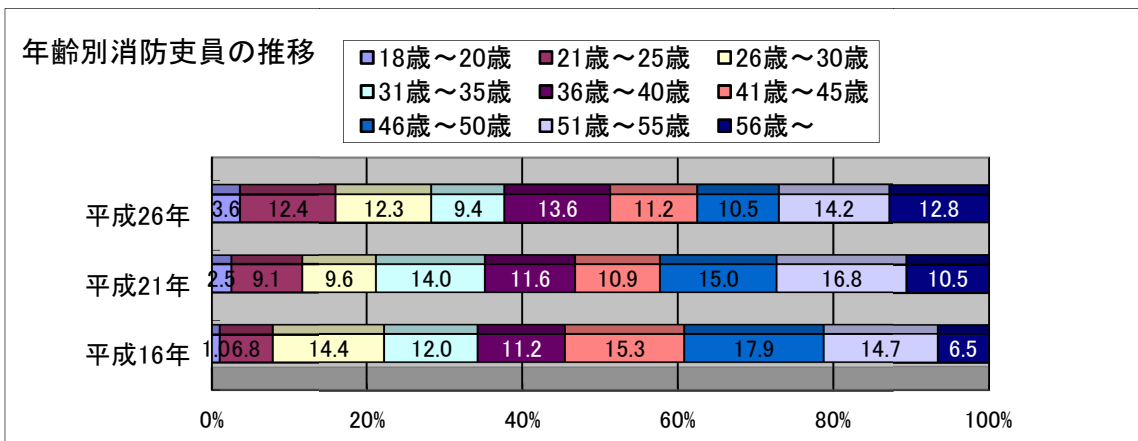
消防吏員数の状況は次のグラフに示すとおりであり、常備消防体制の拡充とともに、増加傾向にある。



消防吏員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。年齢別にみると、51～55歳が14.2%と最も多くなっている。

また、消防吏員の平均年齢は40.1歳で昨年より0.3歳下がっている。

在職年数別にみると、5年未満の在職者は18.0%であり10年前の倍近くとなっている。



## (2) 消防団員

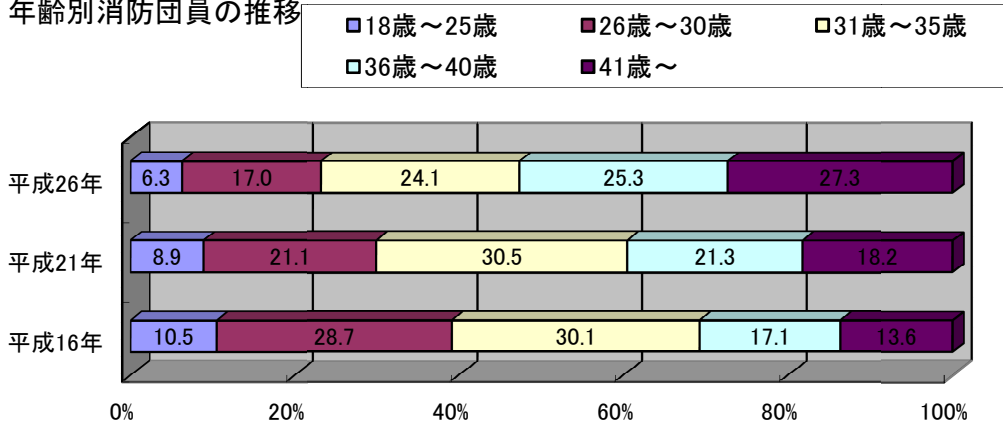
平成26年4月1日現在の消防団員数は26,557人であり、前年と比較して2,577人減少した。これを10年前と比較すると2,338人(8.1%)減少している。

消防団員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。

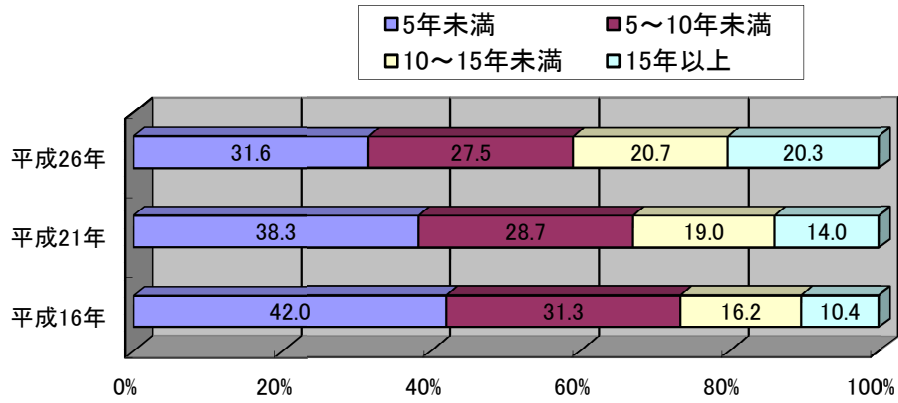
35歳以下の団員が全体の47.4%、在職年数10年未満の団員が全体の59.1%を占めているが、この割合は減少していく傾向にある。

また、団員の平均年齢は36.6歳で、昨年より0.5歳高くなっている。

### 年齢別消防団員の推移



### 在職年数別消防団員の推移



### 階級別消防団員の推移

